NIE実践報告

1．タイトル：カタカナをさがせ！

2．学校名

東京都大田区立志茂田小学校

3．実践者名（代表者名）

滝本裕一郎

4．学年

2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　２０名

6．単元（本時の学習課題）名

「かたかなの広場②」

7．目標（狙い）

片仮名の使い方を実際の生活の中から探し出し、その使い方を考え、どんな言葉を片仮名で書くかを知り、文の中で使うことができるとともに、新聞への興味や関心をもつことができる。

8．評価の視点

紙面上から進んで片仮名を探し、どこに分類されるか考えることができたか。片仮名探しから新聞に興味・関心をもてたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・片仮名で書く言葉のきまりを知る。片仮名を使った文を書く。　２時間
・新聞から片仮名を探して分類する。片仮名探しから新聞に関心をもつ。　１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

導入　前時までに学習した、片仮名で書く言葉のきまりを確認する。

展開　①小学生新聞から片仮名を探す紙面を１面選ぶ。
　留意点　活動に入る前に、新聞記事を読む時間を十分に確保する。
②選んだ紙面から、片仮名を探していく。
　留意点　探した片仮名を用意した短冊に記入させる。
③記入した短冊を分類毎に分ける。
　留意点　黒板に模造紙を準備し、短冊を貼る。

まとめ　感想を書く。
　留意点　感想は、国語科での観点に限定せず、新聞に関するものでも、評価する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞の中には、面白い片仮名がたくさんあった。
・小学生でも読める新聞があることを知った。
・新聞には片仮名がいっぱいあるんだなと思いました。

12．成果と課題

・今回の実践では、授業の前半で、意図的に新聞記事を読む時間を設定した。どの児童も、食い入るように新聞記事を読んでいた。また、授業後も小学生新聞を教室に複数部置いていたら、休み時間に「読んでもいい」と言って、新聞を読んでいる児童もいた。新聞に関する興味・関心のきかっけつくりになった。
・意味の分からない片仮名の分類では、前後の記事の内容から、どこに分類されるか推測していた児童もいた。新聞記事を活用し演繹的に推測し説明していく学習方法を発達段階に応じ展開していきたい。